

第 8 回加東市行財政改革推進委員会 会議の概要

(平成 20 年度 第 1 回推進委員会)

開催日時	平成 20 年 7 月 28 日 (月) 午後 7 時 ~ 午後 9 時
開催場所	加東市役所 (社庁舎) 3 階 第一委員会室
出席状況	委員 : 11 名 (1 名欠席) 市側 : 安田副市長 事務局 : 企画部企画政策課長以下 2 名
会 議 の 概 要	
委嘱状の交付 新委員 : 上月嘉和 氏 新委員 : 柴崎彰孝 氏	
1 開 会	
2 あいさつ 川本委員長 安田副市長	
3 協 議	
(1) 行財政改革の取組状況 (中間報告) について	
・「行財政改革の取組状況 (中間報告)」(案) を説明し、協議する。	
・本日の協議を踏まえ、「行財政改革の取組状況 (中間報告)」を、公表する。 中間報告について意見を求める。(後日提出)	
(2) 委員の再任について	
・委員の任期は 2 年で、今年の 9 月 28 日で満了となるが、行財政改革大綱の取組 期間中であることから継続 (再任) を依頼する。 各委員、了解する。	
4 そ の 他	
・今後の委員会は、秋と年度末の 2 回を予定する。日程は、事務局で調整する。	
5 閉 会	

主な意見の要旨等〔()は事務局等の回答〕

【行財政改革の取組状況（中間報告）について】

〔同種の公共施設の統廃合〕

- ・図書館の統廃合について、教育委員会内に検討プロジェクトチームを設置するとしているが、外部が必要ではないか。
(まず、内部での検討を考えている。)

〔市営住宅の整理合理化〕

- ・入居者は、市営住宅の入居基準に合致しているか。また、入居できる人が入居できているか。
- ・市営住宅は本来、一時的なもので、流動的に入居できるようにする必要があるのではないか。

〔公用車台数の適正化〕

- ・合併からの公用車の削減数は自然減程度で、削減の取組が感じられない。
(20年4月1日現在の公用車193台のうち削減の対象となる公用車は45台程度と思われる。削減目標を立てて、取り組んでいく。)

〔市税等の収納状況〕

- ・市税等の収納状況で、「調定額 - 収入額 = 未収額」とならないが、どういうことか。
(本来「調定額 - 収入額 - 不納欠損額 = 未収額」となる。注釈に記載しているが、紙面の都合で「不納欠損額」を掲載できなかった。)

〔水道事業の経営健全化〕

- ・水道事業に、ファンド（銀行）が参入するという新聞記事があったが、加東市ではどうか。
(そのような話は、聞いていない。)

〔定員管理の適正化ほか〕

- ・加東市のラスパイレス指数は、北播磨5市等と比較すると必ずしも高くないが、前回委員会で示された「行政コスト計算書」では人件費が多いが、なぜか。
(ラスパイレス指数は、国家公務員の給与を100とした場合の地方公務員の給与水準を示すもので、給与総額（人件費の総額）とリンクしていない。)
(行政コスト計算書で加東市の人件費が多いのは、CATVや分庁方式による窓口センターなど、加東市の特殊事情により職員数が多いことが要因と思われる。)

主な意見の要旨等〔()は事務局等の回答〕

〔議会改革の取組状況〕

- ・議会だよりの編集は、市職員がかかわっているのか。
(議員7人による議会広報委員会を設置して、編集されている。)
- ・議会の情報発信として、ケーブルテレビの活用を考える必要がある。
- ・議員定数について、市民からは多いと感じる。
(議会の議論を必要とする課題である。)
- ・議員定数について、この委員会から提案する必要があるのではないか。

〔法人市民税の超過課税の検討及び実施〕

- ・景気の悪化や合併前に超過税率を適用していた町(柏原町、八鹿町、山崎町)も合併後は標準税率としていることから、超過課税の実施が難しいとの判断は、仕方がない。

〔地域協働(市民参加)の推進〕

- ・総合計画策定における「まちづくり市民会議」の成果を踏まえて、夏まつりをはじめとした市のイベントなどに市民の知恵を活かさなければならない。イベントの3か月前とかではなく、1年程度の期間での市民参加・参画の仕掛けが必要である。

〔ごみ減量化対策の実施〕

- ・ごみの収集は、民営化すべきでないか。
(民営化の方向もあり得ると考えている。)

〔バイオディーゼル燃料の活用〕

- ・天ぷら油の再利用について、十分検討してほしい。